



今年は春の訪れが早く、田村の地でもいつもより早く桜が満開になりました。

小学部・中学部入学式は満開の桜が映える晴天の下4月7日に挙行し、小学部8名、中学部8名が入学いたしました。高等部入学式の4月9日は、一転して雪も舞う日ではありましたが、新しい制服に身を包み、希望に胸を膨らませた12名の新入生を迎えました。

令和3年度の本校の児童生徒数は小学部38名、中学部19名、高等部39名、計96名です。各校舎ともに、元気な笑顔と活気にあふれた新しい1年がスタートしました。

## 春山校舎:小学部中学部



## 石崎校舎(船引高校):高等部



〇たむら支援学校は、船引町内に2つの校舎をもつ特別支援学校です。普段はそれぞれの校舎で学んでいますが、高等部生が春山校舎に来て作業学習(清掃等)を行ったり、下級生と触れ合う機会を作ったりすることもあります。



〇高等部(石崎校舎)は、船引高校のなかにあります。両校の生徒昇降口は一緒です。日々挨拶を交わすことはもちろんですが、生徒会行事や家庭クラブの活動を一緒に行う機会もあります。



小学部・中学部入学式  
裏面に歓迎会の様子あります。

船引高校生・たむら支援高等部生の  
対面式:4月12日に短時間で行いました。

## 校長挨拶 ～令和3年度の学校教育目標について～ 校長 菅野 美恵子



今年度より、たむら支援学校では新しい学校教育目標を掲げました。

日々の体づくりをとおして健康で『丈夫な体』を培い、新しい学習にも取り組んでみたり、苦手なことにも挑戦したりしながら『進んで学ぶ力』を高め、『思いやりの心』で友達と協力して共に取り組むことができる児童生徒に育てたいと考えております。

特に、今年度は、一人一人の「伝える力」を丁寧に「ひきだす」、その力を「のぼす」、さらに「ひろげる」授業作りを目指します。

そして、児童生徒がこれらの力をいかして自分の思いを発信し、いろいろな人とやりとりを深めること、生活にいかすことにつなげてまいります。今年度も御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

また、たむら支援学校の校舎を越えた児童生徒同士のつながりを深めることはもちろん、船引高校とのつながりを広げます。保護者の皆様、地域の皆様と共に歩む学校であり続けたいと考えています。

今年度も、地域の方々による学習活動の講師や、体験的な活動への御支援を引き続きお願い申し上げます。学校からは様々な情報発信を心がけ、日々の学習活動や学校行事の様子をホームページに掲載するほか、その一端ではありますが学校全体の様子を紙面で御家庭や春山地区の皆様にお届けいたします。



## 小学部 入学おめでとう会

4月19日(月)



6年生が司会進行や、始めの言葉、終わりの言葉を上手に行いました。

1年生8名は、担任の先生からの呼名に「はい。」と返事や手を挙げてこたえ、自己紹介(名前や好きなもの)をしました。その後、1年生から6年生みんなで「しあわせなら手をたたこう」を歌いながら、手を叩いたり、肩やおしりにトントンしたり、とっても上手にできました。

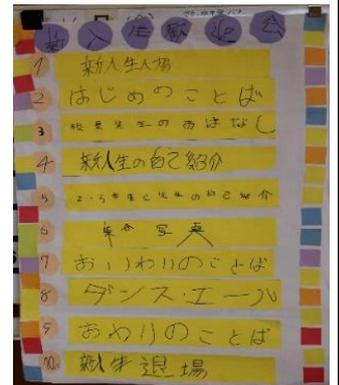


4月16日(金)

## 中学部 新入生歓迎会

会場の準備、飾り付け等を2, 3年生が協力して行いました。

当日、会の進行は3年生が担当しました。マイクをもってはっきりと話をしたり、わかりやすくみんなに見せたりして、進行の役割をしっかりと果たしました。先輩、最上級生としての自覚が感じられました。



1年生の自己紹介の後、2, 3年生からも自己紹介をして、お互いの名前や好きなものを確認しました。



先輩から歓迎のダンス「U. S. A」の披露があり、とても盛り上がりました。

最後には、1年生から3年生みんなで「パプリカ」を踊って楽しい時間をすごしました。



(文責 校長)

